

F-REDD Newsletter

Sustainable Forest Management and REDD+ Support Project

Nov 2015 - Oct 2020

持続可能な森林管理及びREDD+支援プロジェクト(F-REDD)

本プロジェクトの目的はREDD+に係る戦略策定、実施体制構築、実施のコーディネーションの支援と森林資源情報の整備などに係る能力の強化をはかり、それによってラオスの持続的な森林管理の促進に寄与することです。農林省森林局(M AF-DOF)を実施機関として協力しています。

F-REDD第2期開始

2018年2月からF-REDDの第2期が開始しました。

第2期は2020年10月までをその期間とし、これをもって2015年11月から5年間に亘るプロジェクトの完了となります。従って、折り返し点にあるプロジェクトの進捗および成果を見直すのはもちろんのこと、第2期でさらに協力内容を拡大しつつ、5年間の成果をまとめ上げる重要な期間となります。これらについて、ラオス側および日本側での共通理解を醸成し、第2期の活動計画を承認する目的で、ラオス森林局のSousath局長を議長、JICAラオス事務所の作道次長を共同議長として第4回JCC (Joint Coordinating Committee) が2月27日に開催されました。

第2期の活動として、例えば森林法改定やルアンプラバン県に加えてウドムサイ県のREDD+準備支援などへの追加的な支援が合意されています。また、今年1月に提出された国家FREL^{*1}のUNFCCC審査と改訂、森林炭素パートナーシップ機構 (FCPF) 下に設置されている炭素基金への案件計画書提出^{*2}など、国際的なREDD+メカニズムへの対応支援も約束されています。さらには、緑の気候基金 (GCF) を活用した他ドナーとの連携も検討が進められています。

ラオスの森林セクターでは、現行の森林戦略に続く次期戦略の準備が開始すること、国家REDD+戦略が近々の承認を経て実施段階に入ること、成功を見せている違法伐採対策の取り組みを持続させることなど、重要な時期にあります。これらに対してF-REDDは様々な形での支援を予定しています。

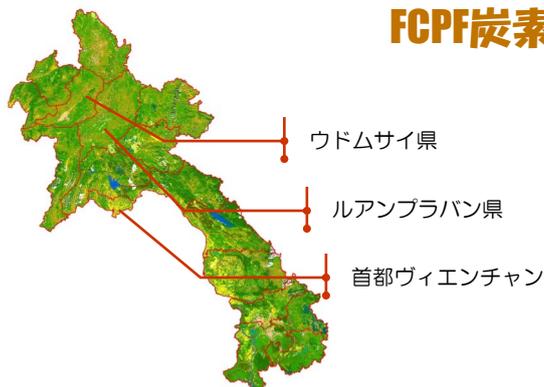
*1 <http://redd.unfccc.int/submissions.html?country=lao>よりダウンロード可能。

*2 <https://www.forestcarbonpartnership.org/lao/people%E2%80%99s-democratic-republic>よりダウンロード可能。



上：議長のSousath森林局長と共同議長のJICAラオス事務所作道次長

下：第1期の活動実績が確認され、第2期の活動計画が承認された



FCPF炭素基金への案件計画書第1案が提出されました

これまで何度かに亘りお伝えしてきたとおり^{*1}、F-REDDはラオスの森林炭素パートナーシップ機構 (FCPF) 炭素基金への案件計画書提出を支援しています。

炭素基金では所定のガイドラインに適合した詳細な案件計画書を作成し、厳格な審査をクリアすることが求められます。ラオスは北部6県を対象地とした案件を形成しています。そのうち、炭素勘定はとりわけ多くの基準が設定されており、F-REDDの森林資源情報分野への支援に基づくFREL^{*2}、MRV^{*3}、NFMS^{*4}などが重要な役割を占めています。(次ページに続く)

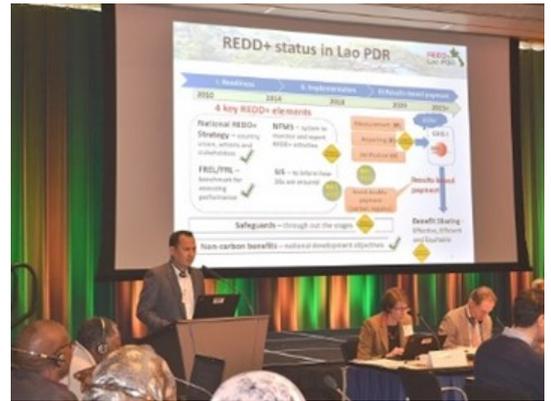
(前ページから) 案件計画書提出に当たっては、事前に累次に亘る世銀およびFCPFのレビューがあります。そのうち3月上旬行われた審査では、約1週間半に亘る詳細な議論が為されました。それを受けて3月に案件計画書第1案が正式に提出されています。今後もラオス政府とF-REDD他のドナーチームにとって大きなチャレンジが続きますが、審査通過に向けて一丸となって協力をして行きたいと思えます。

*1 季刊第4号、他。

*2 FREL (森林参照排出レベル) : 過去の森林からの温室効果ガス排出・吸収量の推移に基づいて推測された将来予測。

*3 MRV : 温室効果ガスの排出・吸収量の結果を計測 (Measurement)、報告 (Reporting)、検証 (Verification) するための仕組み。

*4 NFMS (国家森林モニタリングシステム) : 森林由来の温暖化効果ガス排出・吸収量を推定する基礎としてREDD+活動をモニタリング・報告する仕組み。



ワシントンD.C.で開催されたFCPF会場でラオスのREDD+について発表するラオス代表団

森林参照排出レベル(FREL)レポート技術評価の開始



TV会議を通じた技術評価会

2018年1月にラオス国は森林参照排出レベル (FREL) レポートをF-REDD全面支援の下、気候変動枠組条約 (UNFCCC) に提出しました。UNFCCCが選定した土地利用、土地利用変化及び林業 (LULUCF) 分野の専門家2名から構成される技術評価チーム (AT) が当レポートを評価します。2018年2月に送られてきた質問票に対して回答を送付した上で、TV会議がATとラオス国のFRELレポート作成チーム及びF-REDD専門家間で持たれました。集中的な技術評価会は2週間のみですが、その後も継続的にEmailで意見交換が続けられています。それらの意見交換をふまえて、ラオス国は5月末までに修正版FRELレポートを提出予定です。修正版FRELレポートを再度ATが評価し、ラオス国と意見交換の後、2018年11月に最終評価レポートが公開されます。

将来、緑の気候基金 (GCF) 等の成果支払い (RBP) に申請する際には、当技術審査を受けているFRELが排出削減成果の測定・報告・認証のベンチマークとなることから当活動の重要性がラオス側にも認識されています。

成果毎の主な活動

成果1：中央政府の森林セクター支援

- ◆森林法改正案作成

成果2：REDD+実施による排出削減・吸収増加量の測定支援

- ◆UNFCCCによる森林参照排出レベル(FREL)レポートへの技術審査対応
- ◆NFMS/Registry透明性確保のためのWeb-Portalの公開準備
- ◆NFMS/Registry拡張・開発に向けたロードマップ案の作成・協議

成果3：国レベルのREDD+支援

- ◆FCPF炭素基金向け案件計画書 (第1案) 提出および技術審査対応

成果4：ルアンプラバン県のREDD+準備支援

- ◆ウドムサイ県パイロット活動立案のための準備調査
- ◆PRAP優先政策パイロット保護林管理計画ドラフト案作成

共通の支援

- ◆第4回JCC開催

コンタクト

プロジェクトオフィス

Kouvieng Street, Sisaket Village,
Chanthabouli District,
Vientiane Capital, Laos
Tel & Fax: 021(22)2536

プロジェクトHP

<http://www.jica.go.jp/project/laos/018/index.html>

次期四半期のイベント

Apr.
年次ワークショップ

May
第6回REL/MRV技術作業部会会合
UNFCCCへの改訂版森林参照排出レベル (FREL) レポート提出
FCPF炭素基金への案件計画書 (最終案) 提出



農林省
Ministry of Agriculture
and Forestry (MAF)



独立行政法人
国際協力機構